

# 地震と津波に学び“海と ともに生きる”未来創生



10月12日(金)10時～17時  
(財)国際高等研究所  
(京都府木津川市:けいはんな学研都市)

## ～森と海を結ぶ干潟・湿地再生を考える～

- |             |  |                        |
|-------------|--|------------------------|
| 10:00～10:10 | 趣旨説明                                     | 田中 克((財)国際高等研究所)       |
| 10:10～11:00 | 基調講演「巨大地震と変動する干潟」                        | 尾池 和夫((財)国際高等研究所長)     |
| 11:00～11:30 | 「有明海・諫早湾の閉め切りから15年一堤防建設がもたらした災いと環境復元の願い」 | 佐藤 正典(鹿児島大学)           |
| 11:30～12:00 | 「気仙沼舞根湾に蘇った干潟・湿地帯とその意義」                  | 横山 勝英(首都大学東京)          |
| 12:00～13:00 | 休憩                                       |                        |
| 13:00～13:30 | 「干潟の機能と価値—三河湾における取り組み」                   | 鈴木 輝明(名城大学)            |
| 13:30～14:00 | 「気仙沼舞根湾における震災後の低次生産の動向」                  | 吉永 郁生(京都大学)            |
| 14:00～14:30 | 「海のゆりかご—アマモ場の機能と回復過程:東北太平洋沿岸域の事例」        | 小路 淳(広島大学)             |
| 14:30～15:00 | 「気仙沼舞根湾に蘇る魚類群集」                          | 益田 玲爾(京都大学)            |
| 15:00～15:20 | 休憩                                       |                        |
| 15:20～15:50 | 「里海創生と干潟再生—英虞湾における取り組み」                  | 松田 治(広島大学)・国分秀樹(三重県水研) |
| 15:50～16:20 | 「蘇る干潟における環境教育と巨大防潮堤」                     | 畠山 信(NPO 法人森は海の恋人)     |
| 16:20～17:00 | 総合討論—「京都提言」へ向けて                          |                        |

森と海の国、日本の故郷とも言える三陸地方。巨大地震と津波の被害を乗り越えて新たな日本の創生に向かって懸命の努力が続けられている。地震による地盤沈下により蘇りつつある湿地や干潟。その前に立ちはだかる巨大防潮堤計画。次世代に残すべき森と海の接点、干潟・湿地再生の今日的意義を考える。

主催：舞根湾生物環境調査グループ・有明海再生研究会・NPO 法人森は海の恋人  
共催：(財)国際高等研究所・京都大学フィールド科学教育研究センター・三井物産株式会社  
問合せ：NPO 法人森は海の恋人 理事 田中 克 (0774-33-2503)  
事務局 小山美江 (0266-31-2751)

